

半田市立板山小学校　学校だより【第１０号】

よ も ぎ 道

平成２８年１２月（編集：教頭）

ネット社会に生きる子どもたちを守ろう！

１１月３０日（水）、半田市教育委員会と半田市ＰＴＡ連絡協議会との懇談会があり、

ネット社会に生きる子どもたちを守るために、何ができるかを話し合いました。

「寝落ちした」ってわかりますか？

携帯やスマホをしながら寝てしまうことです。市内の小中学生は、全国に比べて携帯やスマホを持っている割合が高く、**長時間、操作していて寝る時間が遅くなっている子ども**も多いようです。今や「ネット依存」は、子どもにも見られるようになりました。

携帯やスマホを傍らに、**ゲームやLINEをしながら勉強する子ども**が問題になっています。人間の脳は、２つのことを同時にできないため、せっかく勉強してもその成果がゲームやLINEをすることで消えてしまうそうです。また、ゲームは仮想と現実の判断プロセスを欠落させ、自制心が弱くなってしまうということも言われています。

講師の浜松学院大学短期大学部 幼児教育科 教授 今井昌彦先生は、ネット社会には大きな落とし穴があると警告を鳴らしました。

**①「不寛容社会」**

*今の社会は、他人の過ちや欠点を許さない不寛容な社会と言われている。相手にダメージを与えれば与えるほど気持ちがいい、人を見下すことで快楽を感じる。*

**②「フォトの落とし穴」**

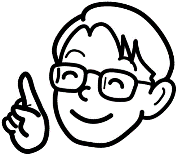
*写真の投稿により、写真の背景などから個人が特定され、個人情報が漏れる。*

**③「Digital Tattoo」（デジタル・タトゥー）**

*一旦、インターネット上で公開された書き込みや個人情報などが、*

*拡散してしまうと、後から消すことが極めて困難である。*

*ワンクリックで人生を壊すことがある。*



　本校では、昨年度の生活アンケートにおいて、携帯やスマホを持っている児童は38.2％、今の生活に携帯やスマホは必要であると捉えている児童は61.3％いました。

携帯やスマホを活用するよさがある一方で、「生活習慣が乱れる」「学力が低下する」「犯罪に巻き込まれる」「身体に異常をきたす」などの問題点も生じています。

半田市小中学生は犯罪が起きる環境を生み出さないために、次のことをネットを使う上での「こころがまえ」として定めています。

**「 ネ ッ ト 五 原 則 」**

**１　携帯などはお家の人と買いましょう。**

**２　家庭で携帯などのルールを決めましょう。**

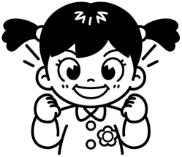
**３　携帯などの使用は、小学生は９時、中学生は１０時までに**

**しましょう。**

**４　書き込みなどを見て、嫌な気持ちになっている人のことを**

**考えましょう。**

**５　安全に使うためにフィルタリングをかけましょう。**





以上のことを踏まえて、本校では、ＰＴＡと連携して「ネット五原則」を推進するとともに、まず、大人がネット社会の現状を学び、それを子どもに伝え、子どもを守っていくことが大切だと考えています。

また、本校ではプライバシーポリシー（個人情報の保護）を定めています。これまで、本校の広報活動として、本校の教育活動中の児童の写真や名前、作品等の成果物を、学年・学校だより、本校のホームページに使用させていただきました。感謝申し上げます。

今後、学校だよりについては、本校の教育活動の結果を中心に、学年だよりについては、次の行事予定や学習予定等、本校の教育活動の理解と協力を得るものとして発信してまいります。児童の個人情報の扱いについては、引き続き、厳重に管理するとともに、細心の注意を払ってまいります。ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

乙川地区少年を守る会　講演会の案内

「現代社会における

スマートメディアがかかえる諸問題考」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜入場無料＞

講師：浜松学院大学短期大学部

　　　　　教授　今井　昌彦　氏

日時：平成29年1月17日（火）

　　　　　10:00～11:30

場所：乙川交流センターニコパル

　　　　　　　　　　（乙川中学校隣）

※参加希望の方は、1月10日（火）までに、板山小　教頭　小嶌までご連絡ください。

　 （板山小：℡27-5177）

大きくなった家、小さくなった家族

便利になって、時間がない

増える学位、鈍くなる感性

増す知識、衰える判断力

増える専門家、増える問題

増える薬、損なわれる健康

はるか月まで行って、帰ってくる時代

隣人に会うために、道ひとつ越えられない

情報を蓄え、複製するためのコンピュータを作り

真のコミュニケーションは減り続ける

私たちは量を重んじ、質を軽んじるようになった

ファーストフードと、消化不良の時代

大きな身体と、狭い心

伸びる利益、そして薄まる絆

ショーウィンドウに多くのものが陳列されていて

倉庫には何もない

・・・・それが我々の時代だ

ダライラマ